

青葉山エリアのまちづくり

2億6912万円
青葉山エリアの価値や機能を高める各種事業を展開するとともに、エリア内の相互連携を推進し、魅力の向上を図ります。青葉山エリアにおける文化観光を推進し、交流人口拡大を図るため「(仮称)青葉山エリア文化観光交流ビジョン」を策定します。また、青葉山公園を都の都のシンボルとなる公園として整備するほか、仙台城大手門復元関連基礎調査を含む総合的な調査等を実施し、歴史と趣を感じる景観づくりを進めます。

音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合整備

2566万円
青葉山エリアに、総合的な文化芸術の拠点となる音楽ホールと災害文化の創造を担う中心部震災メモリアル拠点を複合整備するため、基本構想の策定を進めます。

勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり

13億3583万円
定禅寺通エリアの魅力向上をきっかけとした、都心全体の回遊性や活力向上を目指し、定禅寺通の活性化に係る基本的な方針を策定

します。また、市役所本庁舎敷地と勾当台公園市民広場の一体的利活用に関する社会実験に取り組みほか、新本庁舎の実施設計や勾当台公園再整備基本計画の策定等を行います。

都心再構築プロジェクト

3億9361万円
にぎわいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける「躍動する都心」を目指し、都心の機能強化を進めます。市街地再開発を目指す地元団体への活動支援など、都心の再整備支援を行います。また、居心地が良く巡り歩きたくなるまちなか空間を創出するため、青葉通駅前エリアで社会実験を実施し、公共空間の在り方の検討を進めるとともに、宮城野通や肴町公園等の利活用を推進し、都心全体の魅力と回遊性を一層高めます。

機能集約型都市づくりの推進と良好な居住地域づくり

39億9485万円
鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりに継続的に取り組むとともに、立地適正化計画の策定などを行います。また、歩行空間のバリアフリー化や昇降施設整備など鉄道駅周辺環境の整備や、仙台MaaSの推進などを行います。

交遊の海辺づくり

2億1190万円
東部沿岸地域において、貞山運河の活用を含めた海浜エリアのにぎわいづくりに関する構想の策定に取り組みます。「新浜みんなの家」や「なかの伝承の丘」などの活用・発信への支援や、アーティストと地元住民等によるアート作品の制作など、東日本大震災の記憶の継承と発信を行うとともに、沿岸部各地区の魅力をつなぎ、にぎわいづくりを進めます。



新浜町内会による「新浜フットパス」。貞山運河の魅力を感じながら船遊びや周辺散策などを行っています

地域づくりパートナーシップ推進

9497万円
地域により異なる課題にきめ細かく対応し、多様な主体が持つ力を課題解決やにぎわいづくりなどに生かす仕組みづくりを推進します。長町地域では、地域団体等と

主要事業

多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり

新型コロナウイルス感染症対策

157億2361万円
新型コロナウイルス感染症の予防および感染者に対する適切な医療提供体制を確保し、感染拡大防止に努めます。発熱患者に対する迅速な医療体制等の拡充を図るため、初期救急医療機関のバックアップを行うとともに、PCR検査体制の確保や希望する市民に対する円滑なワクチン接種を実施します。新型コロナウイルス感染症の終息後には、これまでの対応の振り返りと事後検証を行います。

すこやか子育てプラン推進

752億6264万円
安心して子どもを産み育てることができるよう、保育環境の充実等に取り組みます。子どもが意見を表明する機会を確保し、権利を擁護する「子どもアドボケイト」を児童養護施設などに派遣するほか、児童相談所の大規模改修や児童館への防犯カメラの設置を行います。ヤングケアラーへの支援体制を強化するため、新たに相談窓

口を設置するなど、未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう各種施策を推進します。

妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実

672億525万円
子ども医療費の助成について、令和5年度からの所得制限の撤廃に向けたシステム改修を進めます。先天性聴覚障害の早期発見・療育につなげるため、新生児を対象とした聴覚検査の費用を助成するほか、保育施設などにおける1歳児受け入れ枠を拡充します。また、産後ケア事業の対象となる母子を、



子どもの成長段階に応じた子育て相談会を開催するなど、切れ目のない支援を実施します

産後1年未満まで拡大するとともに、訪問型支援を新たに開始するなど、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図ります。

地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり

2億7545万円
新生児誕生祝福事業として、子どもが誕生した家庭に対し、育児用品・地場産品などが選べるカタログギフトを贈呈します。また、若い世代の本市への定着を図るため、若年層の子育てしやすい良好な戸建て住宅取得に対する助成を開始するほか、男性の育児休業取得促進に向けた啓発等を行い、地域全体で子どもの育ちを応援する環境づくりに取り組みます。

GIGAスクール構想の推進

6億4775万円
児童生徒の情報活用能力を育成し、多様な学びで豊かな創造性を育むため、ICTを活用した教育の充実を図ります。1人1台の情報端末に、学習状況の把握等を効

連携し、にぎわい創出と域内外の交流促進を図ります。泉中央地区では、区役所の建て替えに伴い新たに整備する区民広場等の利用促進に向けた検討などを行います。

その他の主要事業

- 若者の地元定着促進 1億6677万円
- 仙山連携推進 693万円
- 国際姉妹都市等との交流 1628万円
- 国内姉妹都市との交流 632万円
- 震災復興メモリアル 1億9373万円
- 救急体制整備 8億3741万円
- 安全・安心確保の取り組み 22億4511万円
- 総合的な浸水対策 35億9027万円
- 都市計画街路整備 17億7377万円
- 道路新設改良 88億4123万円
- 橋りょう整備 35億7957万円
- 公園整備 17億4634万円
- 八木山動物公園整備 1億6469万円

率的に行うことができる授業支援ソフトウェアを導入します。また、授業や機器操作の支援等を行うICT支援員の配置を拡充し、全市立学校に訪問できる体制を確保します。



ICTを活用して、一人一人に合わせた学びを実現し、自ら考え、課題を解決できる力を育みます

35人以下学級の実施

6億3838万円
小学校における35人以下学級編制を、小学1～3年生に加え、小学4年生までに拡充し、教員がこれまで以上に子どもたち一人一人としっかり向き合える体制を強化します。

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します